

授業科目名	人事コンサルティング入門	科目コード	EB72	配当年次	3・4	単位	4
担当教員	上野 孝子						
科目の概要							
<p>本科目は、人事コンサルタントを目指す人を対象とした「人事理論に関する知識」と「コンサルティングの進め方に関する知識」を学習するものである。「人事理論」では、人事の基本ファクターである「役割」「能力」「成果」の3つの特質とバランスさせる関係を理解するとともに、その特質を生かした人事システムのありかたを学習していく。「人事コンサルティングの進め方」では、コンサルティングの全体像を把握するとともに、「人事制度の再構築」の進め方とその「運用定着」の実践的方法を学ぶ。必ずしもコンサルタントを志向しない人でも、人事システムの専門性を高めるために有益な科目である。</p>							
科目の到達目標							
<p>①人事の基本概念やその中核となる等級制度、人事評価制度（目標管理制度）、処遇制度（賃金制度）のシステムの概要と専門用語を理解し、説明できる。</p> <p>②人事・賃金の中核の領域におけるコンサルティングの基本的な進め方や考え方を理解し、説明できる。</p>							
テキスト	『人事・賃金コンサルティング入門』河合 克彦, 日本法令, 2014年						
テキストの読み方							
<p>①人事コンサルタントを目指す人のためのオリエンテーションを起点に、テキスト LessonⅡは人事理論に関する知識として筆者の人事システム（役割・能力・成果、評価、処遇）理論が展開されている。</p> <p>②テキスト LessonⅢ,Ⅳ,Ⅴ,Ⅵは、人事コンサルティングの進め方に関する知識として、コンサルティングプロセス、診断、人事制度再構築等コンサルティングの流れと中核が記載されているので、自組織、事業体の人事制度にある課題と照らし合わせながら精読すると理解が深まる。</p> <p>③テキスト LessonⅦは、構築した人事制度の運用強化について記載されているが、人事制度は構築した後の全社ベースで運用されている事実の意味がある。巻末資料も運用上の重要なツールであるので丁寧に、繰り返し読み込んで欲しい。</p>							
単位修得の方法							
<p>①レポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。または、</p> <p>②基本レポートを提出し、60点以上であれば合格となり、スクーリングを受講できる。スクーリングに合格すると、評価が確定し、4単位を修得できる。この場合、応用レポートの提出は不要。</p>							